

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	東朝霞公民館運営事業				事務事業コード	03801	
部名	生涯学習部	課名	中央公民館	係名	東朝霞公民館	部課コード	120300

1. 事業概要

総合計画コード	3221				
事業年度	S 55 年度	～	H 年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input checked="" type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例、同条例施行規則	
めざす目的成果	地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行なうことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。				
事業内容	・窓口(電話対応)業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する業務 ・各種講座開催 ・施設(部屋)の貸し出し・維持管理 ・公民館まつりの開催 ・図書の貸出・返却に関する業務				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付				・事務職員(非常勤職員を含む)7人による事務運営・図書業務運営 ・講師・保育ボランティア等の協力者を得ての事業運営 ・実行委員会との協働による公民館まつりの開催・運営

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・窓口(電話対応)業務、印刷機・コピー機貸出管理、ピアノ・音響・視聴覚・机・椅子等備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理、使送。・利用者48,000人・利用率73% ・主催事業(生活教養講座・子どもふれあい広場・映画会・人権教育講座)参加者延べ408人 ・施設(部屋7室)の貸し出し、ロビー・子ども広場の開放 ・図書館とのオンラインによる図書の貸出・返却業務、新聞・雑誌書棚の整備、リスト発注等による本の入替(図書貸出数:20,000冊) ・実行委員会との協働による第35回公民館まつりの開催(開催日数:2日、参加団体:37団体、来館者数:約3,400人)				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		6,158	6,140	6,254	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	6,158	6,140	6,254		
	b 人件費		10,259	10,626	10,626	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		16,417	16,766	16,880	
投入労働量	常勤職員等(人工)		1.40 人	1.45 人	1.45 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		3,740 時間	4,074 時間	4,074 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	【報酬】一般職非常勤職員報酬:4,850千円 【報償費】謝金:127千円(講師謝金・保育士謝金) 【旅費】費用弁償13千円(交通費) 【需用費】732千円(消耗品費、燃料費、食糧費、備品修繕料) 【役務費】298千円(郵便料、電話料、調律手数料、検便手数料、自動車損害賠償責任保険料) 【使用料及び賃貸料】227千円(複写機借上料、印刷機借上料、電話機借上料、) 【公課費】7千円(自動車重量税)					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 開館日数	日	292 ( 290 )	292 ( — )	291 ( — )	H 32 年度
	②		( )	( — )	( — )	H 年度
成 果	① 利用人数	人	49,000 ( 49,000 )	49,000 ( — )	49,000 ( — )	H 32 年度
	②		( )	( — )	( — )	H 年度

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 地域の学習・コミュニティの拠点として、また図書館のサービスなど広く市民ニーズに応えられる施設として今後も市直営での運営が必要である。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 活動指標については選挙会場により臨時休館することとなったが概ね目標を達成している。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: どなたでも利用しやすい多様な学習機会を提供。 参加と共同: 利用されてる団体の声を運営に反映させるとともに、利用団体による自主的活動を支援。 経営的な観点: 多くの利用団体が活動できるよう公正な貸館業務に努める。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 主催事業講師謝金が財政事情により謝金縮減を継続、今後も生涯学習ボランティアや民間企業等の支援などを活用し創意工夫に努める。			

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年度)		
	方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	地域の生涯学習の拠点として市民への情報発信・収集の場となり、活動団体の活性化を図るよう公民館運営に努める。		